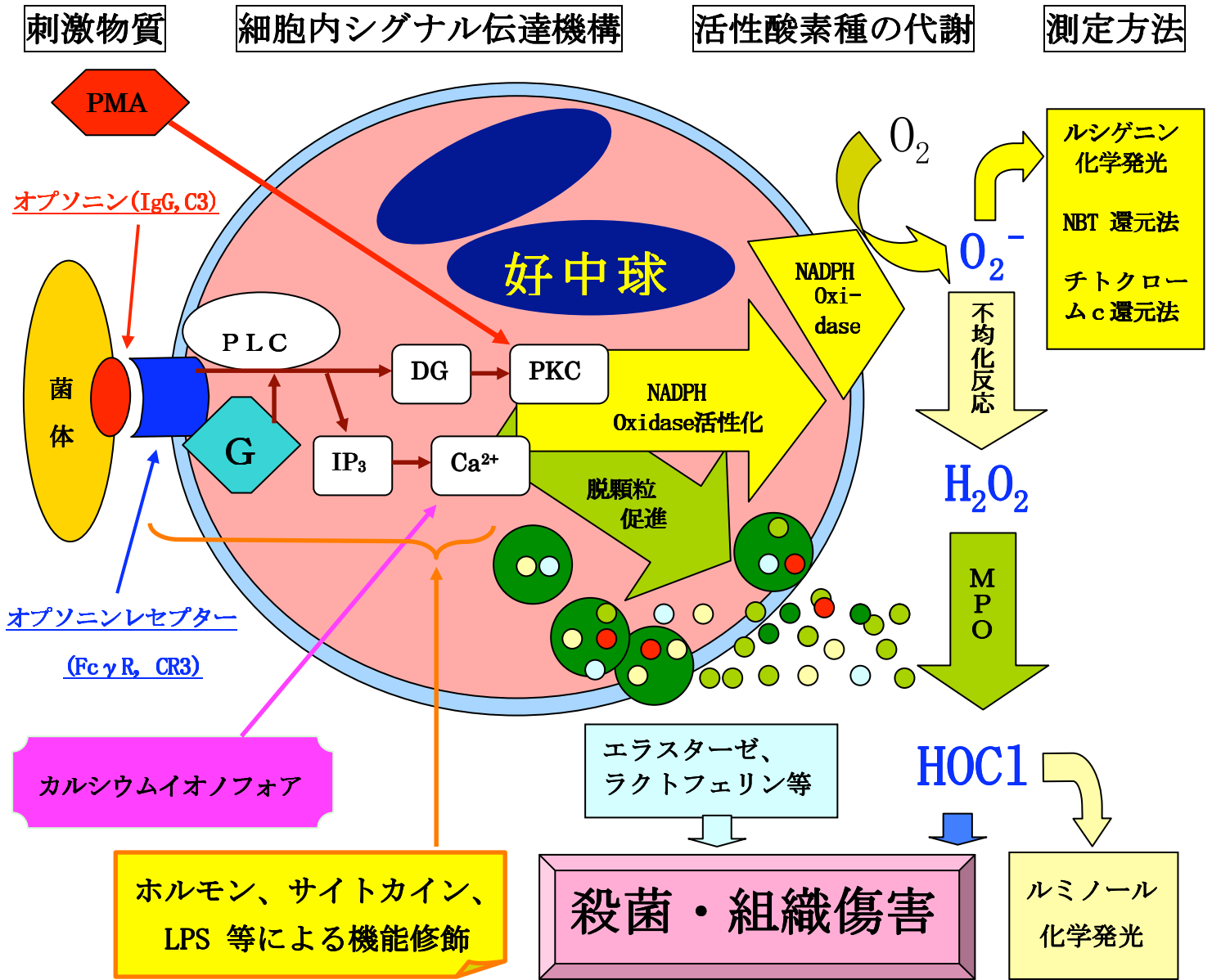


好中球の細胞内シグナル伝達



鈴木克彦「好中球と炎症性サイトカイン」354ページ図3を改変
宮村実晴編『新運動生理学 (上巻)』真興交易医書出版、東京、2001.

免疫学の特別講義のご案内

妊娠と免疫 - 免疫学からみた妊娠維持機構とその破綻 -

順天堂大学医学研究科環境医学研究所 荒木慶彦先生

2005年6月16日(木)4:20~5:50

講義概要

妊娠を免疫学というフィルター越しに覗いてみると、少し考えただけでも不思議な事実にぶつかります。「同種移植片」である胎児がなぜ母親の体内で成長できるのか？輸血では大問題になる血液型が違っていてもなぜ妊娠は成立するのか？等々。講義では免疫学的に見た妊娠の成立機序・その破綻、更に受精・着床機構解明の応用として避妊ワクチンの可能性について概説します。